

事務事業名	ふるさと応援寄附金事業	事務事業No.	60501000055	所属課	ヤマザクラ課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成20年4月に公布された「地方税法等の一部を改正する法律」により、個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充される形で導入された。全国的に実施されている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成27年第1回定例会(H27.3)において、2名の議員から一般質問があった。2名の議員共、返礼品の充実をはかることにより寄附金の増大に努めるべきとの意見が寄せられた。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 寄付金は貴重な財源であり、市の事業遂行の一助となっている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 全国的にほぼすべての市町村で行われている事務事業である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 返礼品の充実により、さらなる寄附金額の増加が期待できる。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 毎年、恒例的に寄付をいただいている方もいる。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 委託事業者を変更するなど、委託費用については削減の余地がある。ただし、寄附額が増加すれば、委託料や返礼品の費用は比例して増加するため、寄附額に対する費用の割合を削減するというものである。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 寄付者に対して特産品を贈呈しているため適正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	近年ふるさと納税が注目されており、本市においても返礼品を充実させ寄附金の増大をはかるため、平成27年度から業務一括代行を行っている。委託先を変更し、プロモーションを強化したり、ポータルサイトとの契約を増やすなど、寄附額向上の余地は十分にあると考える。また、地域商社と連携した返礼品の開発も検討をする価値がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事務委託事業者を変更することで、事業のプロモーション力を強化するとともに、ふるさと納税ポータルサイトを増やすことで、寄附額増加の見込みは十分にある。しかし一方で、事業費の増加は必然的に発生すると、事務の煩雑化は避けられない。実績に応じた迅速な人員配置ができないと、ワンストップ特例申請の税情報入力等で寄付者とのトラブルを招く恐れがある。また、地域商社と連携した商品開発や事業展開を実現するためにも、幅広い情報収集と事務体制の整備は必須であると考ええる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上		○			維持				×	低下				×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上		○																								
維持				×																						
低下				×																						
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>